アクティブ冷却センサで正確な凍結温度と路面状態(乾燥、湿潤、凍結)の判別ができます。

従来の非接触センサに較べて正確に路面の残留薬剤効果を把握できます。

路面に埋設されたセンサにより凍結温度を検出し、残留薬剤を把握します。

正確な凍結温度を知ることで、適切な路面管理ができます。

凍結防止剤散布のタイミング及び機材や薬剤の準備を判断するのに活用します。

特徴

■凍結防止剤、複数の薬剤、泥、交通による摩擦熱、などの誤差要因がありません。

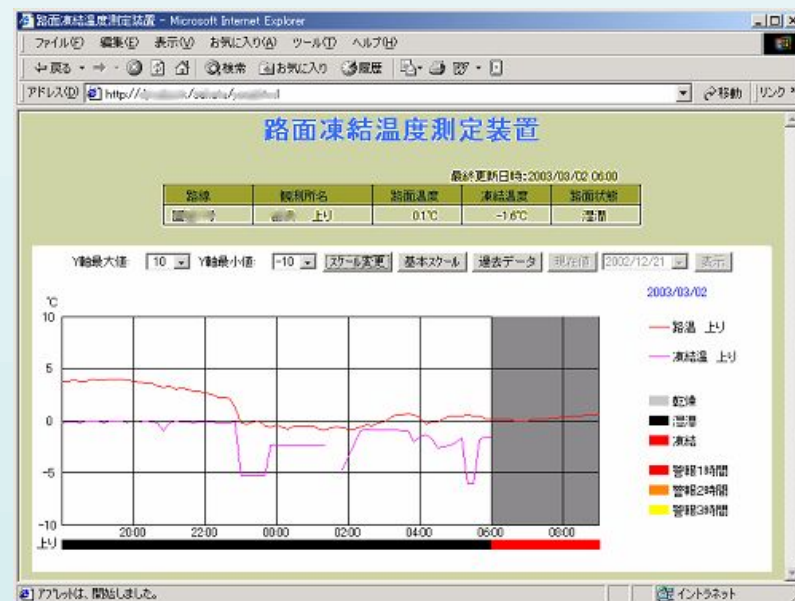
■凍結防止剤が NaCl, CaCl2, MgCl2,酢酸カリウム等、対象を選びません。

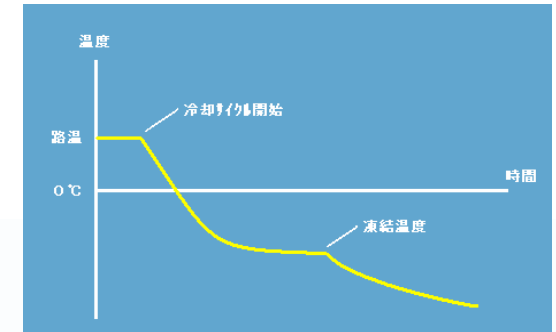
■使用されている薬剤に対するキャリブレーションが必要ありません。

表示ソフトウェア

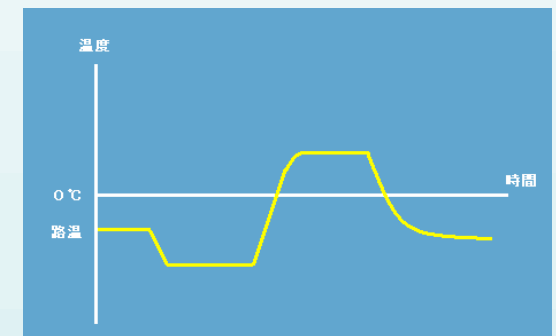
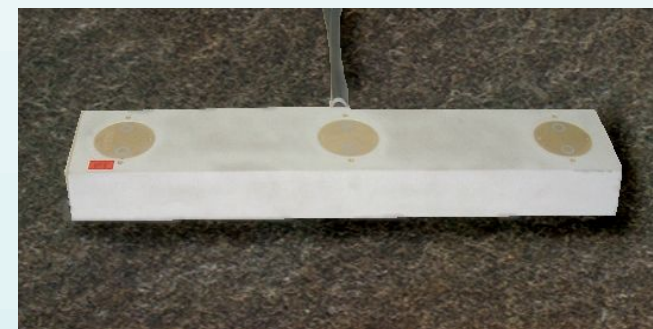
■現在の凍結温度と路面状態を表示します。

■過去12時間分と予測3時間分のデータを表示します。

■ネットワークから閲覧ソフト(インターネットエクスプローラ、ネットスケープナビゲータ等)を使用してデータの

パソコン表示画面

凍結温度検知センサ

■凍結温度検知センサは路面の水分を現在の路面温度から15℃冷却して凍結温度を検出します。

■センサの表面はペルチェ素子によって電子的に冷却と加熱のサイクルが加えられます。

路面状態判別センサ

■パッシブとアクティブ冷却センサの最適な組合せで、現在の路面の状態を判別します。

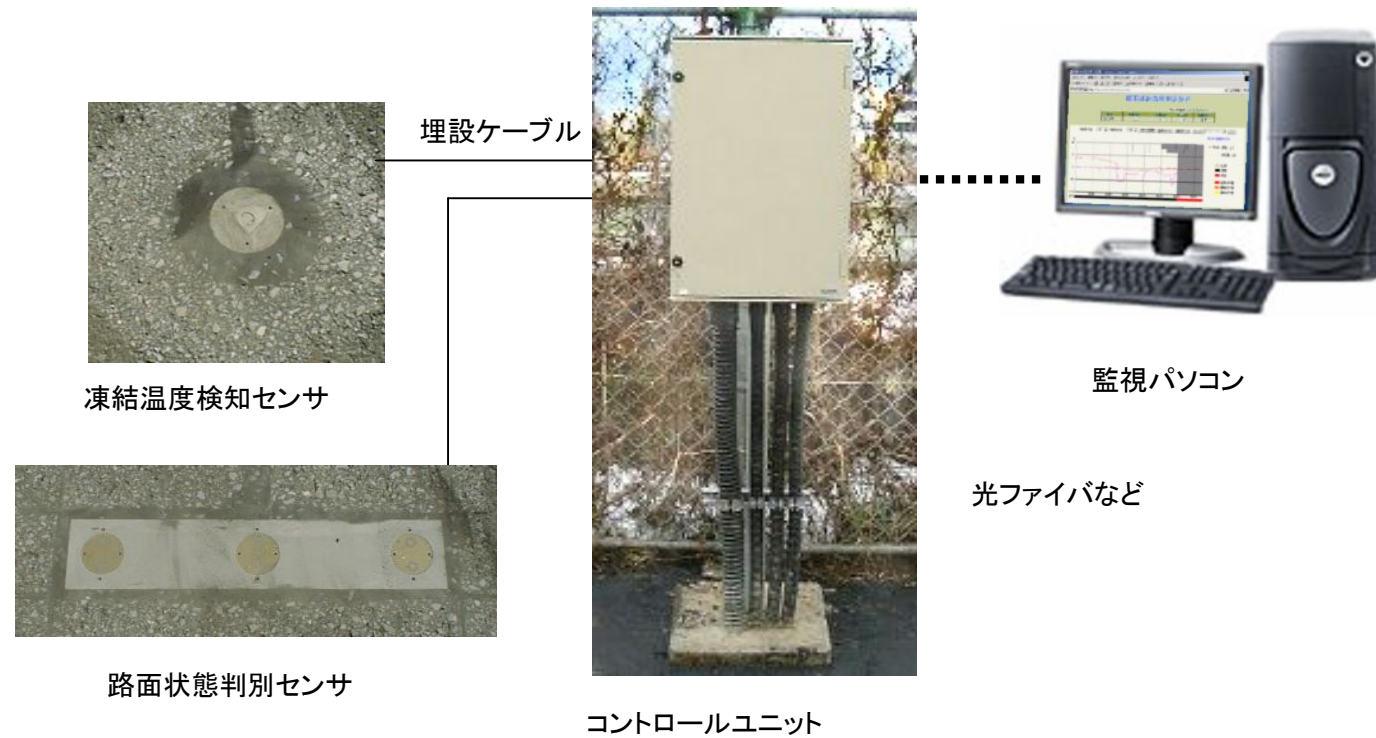
■アクティブ冷却センサではセンサ表面を現在の路面温度から2℃冷却し、次に+2℃まで加熱、元の温度に戻します。

■この冷却サイクルの中で表面の状態を計測し、直接、氷の形成を検出します。

■パッシブセンサでは自然な状態の路面温度と表面の導電率を計測します。

路面凍結温度測定装置

EDS MARKーⅡ

システム構成

- ○ センサは路面に設置します。
- ○ コントロールユニットはセンサから50m以内の場所に設置します。
- ○ 監視パソコンへは光ファイバなどの通信線で接続します。

※ 製品の仕様及びデザインは改良などのため予告なく変更する場合があります。

安全に関するご注意

ご使用の際は、取扱説明書をよく
お読みの上、正しくお使い下さい。

東京計器株式会社

http://www.tokyo-keiki.co.jp/const/

電子事業部　センサ機器部

本 社　電話 (03)3731−2631 FAX(03)3738−8670 〒144-8551 東京都大田区南蒲田 2-16-46
大阪営業所　電話 (06)6150−6605 FAX(06)6150−6610 〒532-0004 大阪市淀川区西宮原 1-7-26

Cat NO.10/10/01 EDS-J3-1

路面凍結温度測定装置
アクティブ冷却センサ
EDS MARK-Ⅱ